

来年1月から!!

配偶者控除、  
配偶者特別控除、  
の見直し



ご紹介しま〜す!!

北上市ホームサービス

〒024-0056 岩手県北上市鬼柳町中佐野18番地9  
TEL: 0197-67-5421 / FAX: 0197-67-2429  
URL: http://kitakamihome.jp E-mail: home@cello.ocn.ne.jp

“こだわりの個性的な家づくり”を  
考えている方、新社屋にて  
お待ちしております!

…担当者から…  
社長のブログおもしろいですヨ〜

まずは  
HPへ



## 『税理士法人』化に向けて

ワツミ

28歳で開業した若かった私も今年満60歳を迎えました。32年もの長きにわたり、お付き合いいただいたたくさんの方に大変お世話になり、心より御礼申し上げます。

さて、最近、事業承継、相続等に関するご相談が多くなりまわすが、私にとっても事務所の継続は解決しなければならない大きな課題です。私の仕事は「公認会計士」「税理士」という一身専属の資格によって行われることから、単純に誰かに引き継ぐという訳にはいきません。監査業務は5人以上の公認会計士による「監査法人」、税務業務は2人以上の税理士による「税理士法人」という法人組織で継続していくことは可能です。これから我が会計人の業務は、複雑な社会変化の中にある、会計、税法等への対応のみならず、サポート感のあるコンサルティング機能を充実させていく必要があり、顧客に対して堤個人ではなく「組織」として対応していく必要性を感じております。いま、優秀な若いスタッフと共に「税理士法人」設立に向けて、従来の業務や組織、内部管理など様々な観点から「仕事の棚卸し」をしているところです。関与先の次世代にも継続したサービスを提供できる事務所を目指して、機は熟しました!

チームワークがコーポレーションとして羽ばたく  
その日を夢見〜

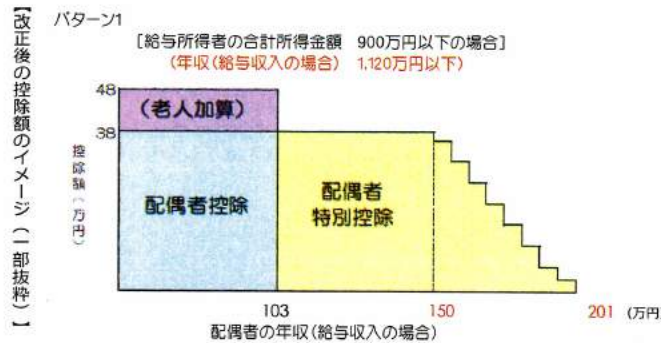


奥さん(旦那さん)の給与収入が20万円未満ならば、必見です。配偶者とは?婚姻関係にある相手方のことですが、“うちの配偶者は”とはあまり言わず、日常では“夫や旦那さん、妻や奥さん”と呼んだりしますね。

先の税制改正で、来年1月からの、毎月の給与計算の「源泉徴収」、年末調整・確定申告の「配偶者控除」及び「配偶者特別控除」が変更されました。以下注意点は、

- ① 配偶者控除額の改正の他、所得金額が1,000万円を超える方は、配偶者控除の適用がなくなりました。
- ② 配偶者特別控除額の改正の他、対象となる配偶者の所得金額が38万円超123万円以下と拡大されました。  
→つまり配偶者の収入が給与200万だけなら該当。
- ③ 扶養親族等の数の算定方法が変わりました。
- ④ 扶養控除等申告書等の様式が変わりました。

総務・経理担当の方、従業員さんへの周知をお願いします。(う)



## 最新

プロ野球の世界では、最近ピッチャーの投げたボールをトラックマンという機械で測定するらしい。この機械、ピッチャーの投げたボールの回転数を測定できる。

ピッチャーの投げたボールの打ちづらさは、ボールの回転数で決まるので、このデータをもとにトレーニングを行う。将棋の世界でも、藤井4段がAI(人工知能)を使い自分の技術を向上させ連勝した。最近技術を使たすぐれた分析が、結果を生み出す。挑戦する人は、オーラも持っている。

ちなみに、私の分析は、辛口の息子(小学生)にまかせてあります。吉田(和)

## 歩く時間

今年も半年が過ぎ、年々、時間が経つスピードが速くなってきたことに驚いています。

今年の春からウォーキングを始めました。きっかけは数年前に痛めた腰がなかなか治らないう事とデスクワーク中心の生活となり慢性的な運動不足を感じたからでした。週末の早朝に約5km、毎週コースを変えながら歩いています。ルールは、27「サボらない」、「走らない」です。季節の変化を身感したり、歩きのラッキーに引け目を感じながら歩いています。日々のスピード感が増え、自分のペースで歩く時間を大切にしたいものです。いつまで続くかな。(寛)

## ミネラル入り麦茶で

## 熱中症対策!



毎年死者を出すなど大きな社会問題となっている熱中症。その対策にもってこいなのが実は『ミネラル入り麦茶』という研究結果が出ています。そもそも人間の体は、皮膚に多くの血液を集めることで熱を体外に放出するという機能を備えています。しかし、水分やミネラルが不足し、“血液ドロドロ状態”になっていると血液の流れが悪くなり、熱が放出できないので、その結果熱中症にかかってしまうそうです。まずは、ミネラル入り麦茶を飲み、血液さらさら!で暑さに負けない体を作りましょう!(亜由衣)

## 編集後記

おかげ様で今回70号の発行となりました。毎号読んでいただきありがとうございます。創刊号は平成7年、平均年齢31.3歳!!と若さ溢れる記事が掲載。あれから22年、平均年齢43歳、体力・病氣など健康の話題が9割の今日この頃です。さて、記念すべき第100号が発行される時、一体何歳になっているのでしょうか...今は考えない考えない(吉田◎)